

薬物乱用防止について (Ver.7)

薬物の危険性・違法性をよびかけ、生きる力を身につける薬物乱用防止教育

和泉市青少年薬物汚染防止対策推進会議

和泉市は、大阪の南西部に位置し、南北に細長い市域を形成しています。

現在、小学校 20 校・中学校 9 校・義務教育学校 1 校があり、約 16,000 人の児童生徒が通学しております。各学校におきましては、子どもたちの健やかな成長を願い、日々の教育活動に取り組んでおります。薬剤師と連携した「おくすり教室と薬物乱用防止教室」は、そのような取組みの一環として、市内の小中学校を中心に実施しております。

目的は、「命の大切さを子どもたちに考えさせる。」

「薬物乱用の悪循環の恐ろしさを知らせる。」

「生きる力を身につけるライフスキル教育につなげていく。」の 3 点です。

「将来にわたって薬物乱用をやらない。」

この思いを子どもたちとともに皆で共有していくために、地域一丸となって多面的な連携支援に取り組んでいきましょう。

青少年における薬物乱用の恐怖

薬物乱用が止まらない(薬物依存症)
若年からの使用は特に危険!
家族を巻き込む

薬物は脳の働きを変え、人間らしさを奪います。



薬物乱用防止教室の目的は?

自ら学び、自ら考え、自分自身で判断し、「薬物乱用は絶対にしない」という強い意志を持ってもらう、正しい判断のもと正しい行動をとれるようになってもらう。

正しい
知識

正しい
判断

正しい
行動

ライフスキル

LS と 諸能力の関連

ライフスキル

日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力

- ・意志決定
- ・目標設定
- ・コミュニケーション (対人関係)
- ・ストレス対処
- ・セルフエスティーム形成

「生きる力」

- 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

セルフエスティーム構成の3要素

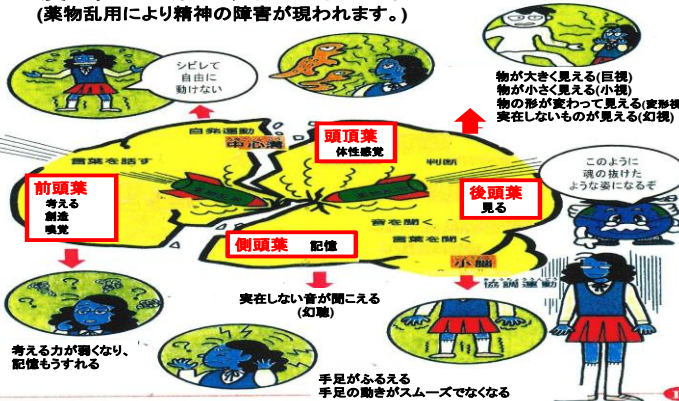
- ・個性の感覚:自分には自分らしい特質があると感じている。
- ・有能性の感覚:自分にはなすべきことをなす能力があると感じている。
- ・結合性(絆)の感覚:自分にとって重要な人や場所の関係性に満足している。

薬物乱用の罠

薬物乱用の罠(わな)は、いろんなところに張り巡(めぐ)らされて、あの手この手で誘惑(ゆうわく)してきます。



一度こわれた脳は、もとにもどらない (薬物乱用により精神の障害が現われます。)



大切な自分を守るために!

誘いの言葉にだまされない!

A cartoon illustration of a person being tempted by drug use. A speech bubble says 「誘いの言葉にだまされない!」 (Don't be fooled by tempting words!). Another says 「誘いの言葉は全部ウソです!」 (Tempting words are all lies!). A person says 「やせられるよ。いやなことを忘れられるよ。」 (You can lose weight. You can forget annoying things.). Another says 「そんなものいりません!」 (I don't need that!).

- 誘いの言葉にだまされない**
問題がある薬物をすすめてくること自体に違和感を持ち、危険を察知する判断力を身につける。
- 断り方のポイント**
「はっきり、きっぱり」断り、すぐにその場から離れることが大切です。
- 大切な自分を守るための5つのポイント**
自分の大切さに気づくことで自己肯定感を高め、生きづらさを感じたときも、薬物ではない選択ができるようになる。